

機 関 誌

いびき

第 62 号



今回発行分より、半期講座案内と内容を整理・統合いたしました。

目次

令和 7 年度前期講座案内 . . .	1
令和 6 年度研修講座報告 . . .	9
各種お知らせ	10

令和 7 年 3 月

北海道札幌視覚支援学校附属理療研修センター

令和7年度前期講座案内

令和7年度 研修講座メインテーマ

『より広く、深い治療技術の習得』

ご挨拶

北海道札幌視覚支援学校附属理療研修センター

所長 野戸谷 睦

みなさま、いつも当センターをご活用いただきありがとうございます。

さて令和7年度の研修講座についてお知らせをいたします。タイトルにあります通り研修講座全体のテーマを「より広く、深い治療技術の習得」といたしました。今年度は「カウンセリングや安全な鍼灸施術の基礎知識、高齢者や出産前後の時期の施術、上下肢への手技、耳鍼など多様な状況に対応できる施術の研修」を準備いたしました。

いまは「多様性の時代」ともいわれます。理療を求める方についても、その症状のみならず、考え方などじつに様々であります。そうしたなかで、ひとり一人に応じた治療や対話を行うためには、より広い範囲での、また深い知識や技術を習得することがより一層求められるようになってきました。講座全体を通して、新しい時代に応じた施術について研修の機会を設定しています。

ここで当センターの講座の「位置付け」についてお話をいたします。当センターの講座は「東洋療法研修試験財団」の「生涯研修」に認定されています。財団の「生涯研修」は「東洋療法に携わる者としての社会のニーズに応えるため、職業に誇りを持ち、絶えず研鑽や努力を行うことで、医学の進歩に対応するため〈あはき師〉の資質の向上を図ること」を目的として行われるものです。北海道では、当センターの年間の講座が、財団の「生涯研修」に位置付けられております。当センターの一講座に参加をすると、同時に、財団の生涯研修「4単位」を取得することができます。この単位を年間25単位以上履修すると「生涯研修修了証書」が財団より交付されます。

「生涯研修修了証書」は、研鑽を積み、資質の向上を図る〈あはき師〉の証書でもあります。なお、「生涯研修修了証書」を8年間に5回取得した方は、東洋療法研修試験財団「理事長表彰」を受けることになります。当センターの研修講座を通して専門性を高めるとともに、その証としての証書、表彰を受けていただきたいと願っております。

来年度を展望いただき、みなさまの計画的、継続的な研修の一助となれば幸いです。みなさまの受講をお待ちしております。

I 受講のご案内

I 受講申し込み・受付

- (1) 受講申し込みの開始は、各講座の2カ月前の1日からとなります。定員となり次第、受付を終了いたしますので、できるだけお早めにお電話・メールにてお申し込みください。お申し込みの際は、氏名、使用文字（普通字・点字）、免許（あん摩マッサージ指圧・はり・きゅう）、電話番号をお伝えください。
- (2) 講座直前のお申し込みの場合、資料をご用意できない場合があります。
- (3) 受講をキャンセルされる場合は必ずご連絡ください。
- (4) 土・日曜開催の講座は、両日同じ内容を行います。受講はどちらか1日です。
- (5) 講座開始15分前までに受付・入室してください。

2 日程

※令和7年度より、外部講師による講座の開始時間が30分早くなりましたので、ご注意ください。

(1) 土曜開催

12:30～ 12:50	12:50～ 13:00	13:00～ 16:00	16:00～
受 付	開 講 式 オリエンテーション	講 義 実 習 (休憩を含む)	閉 講 式

(2) 日曜開催（センター指導員による講座の場合）

9:00～ 9:20	9:20～ 9:30	9:30～ 12:30	12:30～
受 付	開 講 式 オリエンテーション	講 義 実 習 (休憩を含む)	閉 講 式

(3) 日曜開催（外部講師による講座の場合）

9:00～ 9:20	9:20～ 9:30	9:30～ 11:30	11:30～ 12:30	12:30～ 14:30	14:30～
受 付	開 講 式 オリエンテーション	午前の部	昼 休 食 憩	午後の部	閉 講 式

3 その他

- (1) 視覚に障がいのある方がメモとして録音機器を使用する際には、係に申し出て下さい。ただし、講師の承諾が得られなかった場合は、録音はできません。なお、写真・録画撮影は禁止です。
- (2) 講座資料は、受講される方に1部ずつ配付します。点字・普通字両方の資料を希望する方には、それぞれ1部ずつ配付します。また、テキストデータを希望する受講者には事前にメール等にて提供可能です。ただし、講師の承諾が得られなかった場合は、データを提供できません。
- (3) 講座資料の複製ならびにSNS等への転載は禁止です。
- (4) 受講中は、携帯電話等は「消音」モードに設定して下さい。
- (5) 実技を行う講座では、適した服装で受講して下さい。
- (6) 外部講師による講座の際には昼食を斡旋します。注文される方(介助者も含む)は、受講申し込み時にお知らせください。事前に昼食を頼んだ方で、急遽当日欠席された場合は、後日代金をいただく場合がございます。
- (7) ゴミは各自でお持ち帰りください。
- (8) 講座案内(隔月発行)をメールにて配信可能です。希望される方は送信先のメールアドレスをお知らせください。
- (9) 申し込み時にお聞きした個人情報は、講座に関すること以外には使用しません。
※令和7年度から追加した内容です。ご確認ください。
- (10) 転倒防止等の観点から、各自で上履きをご持参いただきますようご協力をお願いいたします。
- (11) 当センターでは、各年度で受講者の生涯研修の取得単位を累計して記録しております。受講の際、希望される方には取得単位を明記した受講証書を発行いたしますので、お申し込みの際にお知らせください。

Ⅱ 研修講座年間計画

講義のみの講座は、Zoom 配信も同時に行います。詳しくはホームページ、電話等でご確認ください。

【令和7年】

月	日	曜日	テーマ	講師
5	25	日	耳鍼の概要と治療の実践	早川 敏弘 先生
6	14・15	土・日	関節モビライゼーション実技研修	センター指導員
	29	日	安全な鍼灸施術のために	上原 明仁 先生

7	13	日	(午前) アロマオイルの効能と活用法	城寶 葉子 先生
			(午後) 性的マイノリティと医療	池田 官司 先生
	26・27	土・日	股関節痛に対する理療治療	センター指導員
8	31	日	スポーツマッサージの実際	センター指導員
9	20・21	土・日	運動器疾患に対する各種体操療法の実際	センター指導員
10	5	日	腹診の基礎と実践	福田 毅 先生
	26	日	指圧の基礎と応用	岡本 雅典 先生
11	16	日	高齢者に寄り添う鍼灸治療	江川 雅人 先生
	29・30	土・日	血圧異常に対する理療治療	センター指導員
12	13・14	土・日	明日から使えるこの1穴	センター指導員

【令和8年】

1	18	日	浮腫に対する手技療法1	阿部 聡 先生
2	1	日	(午前) 施術者として知っておきたいカウンセリングの知識と技術	中村 真通 先生
			(午後) 最新の皮膚科疾患治療	管 裕司 先生
	15	日	浮腫に対する手技療法2	阿部 聡 先生

Ⅲ 地域研修講座計画

月	日	曜日	地域	テーマ	講師
10	26	日	函館	股関節痛に対する理療治療	センター指導員
11	8	土	帯広	睡眠障害に対する理療治療	センター指導員
	9	日	帯広	股関節痛に対する理療治療	センター指導員
	16	日	札幌	高齢者に寄り添う鍼灸治療	江川 雅人 先生

※11月8日は、十勝三療研修会として開催いたします。

※詳細につきましては、各講座が近くなりましたら、改めてご案内いたします。

Ⅳ 前期講座案内

■ 5 月 25 日（日）

あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師対象

『耳鍼の概要と治療の実際』

講師：神戸東洋医療学院附属治療院

副院長 ^{はやかわ} 早川 ^{としひろ} 敏弘 先生

1950 年代にフランスのポール・ノジェ医師が開発した耳鍼は、現在、痛みの緩和から内臓疾患、美容などにも利用されています。アメリカでは、戦争による PTSD の治療にも活用の方が広がっています。

本講座では、耳鍼の歴史や日本の現状などの説明をはじめ、実際の施術についても詳しくご指導いただきます。また、セルフケアの方法についてもご紹介いただく予定です。

〈主な著書〉

耳鍼の最新情報 2020 年版

東洋医学からみる季節の症状と薬膳

薬膳と医食同源の基礎

■ 6 月 14 日（土）・15 日（日）

あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師対象

『関節モビライゼーション実技研修』

講師：センター指導員

昨年度は「関節モビライゼーションを身に付けよう」をテーマに、関節モビライゼーションに関する事項についての総論および、肩関節に絞った実習を行いました。今年度は、より具体的な行い方について、実技中心で行います。特に治療対象となりやすい肩関節、膝関節をはじめ、手関節、股関節、足関節についても離開法・滑り法を行います。

各関節の痛みや可動域制限の改善のため、臨床での治療にすぐに取り入れられる内容をご紹介します。

■ 6 月 29 日（日）

あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師対象

『安全な鍼灸施術のために』

講師：東京呉竹医療専門学校 東洋医学臨床研究所

副所長 うえはら あきひと 上原 明仁 先生

患者さんを施術する際には、症状を改善させることとともに、リスクを回避し、安全に行うことも重要となります。そのためにも、リスク管理に関する知識・技術を身に付けるとともに、安全に関する高い意識が必要となります。

そこで今回は、鍼灸安全対策ガイドラインの作成にも携わり、さらに経穴部の局所解剖にも詳しい上原明仁先生をお招きします。鍼灸施術を中心に、施術による具体的なリスクや実際の事例のほか、解剖学的に注意が必要な経穴に関する知識、安全な刺鍼法、施灸法についてご指導いただきます。さらに、患者さんに安心して施術を受けてもらうための工夫や注意点についてご講義いただきます。

〈主な著書〉

臨床経穴局所解剖学カラーアトラス

鍼灸安全対策マニュアル

■ 7 月 13 日（日）

あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師対象

（午前）『アロマオイルの効用と活用法』

講師：Natural_Scent

代表 じょうほう ようこ 城寶 葉子 先生

最も原始的な感覚である嗅覚は、人間の潜在的な本能に働きかけ、感情や自律神経の変化に直結します。アロマオイルは嗅覚に働きかけ、癒やしや活力を与える効果が非常に高いと考えられます。その効果は多岐にわたり、ストレス緩和だけではなく、不眠や認知症などの症状を改善させる効果も報告されています。

そこで今回は、日本アロマ環境協会認定アロマセラピストであり、視覚障害の方への講習経験もお持ちの城寶葉子先生をお招きし、各種アロマオイルの効能や、自身または施術の中での活用の仕方についてご講義いただきます。また、実際にオイルをブレンドする実習も行う予定です。

(午後) 『性的マイノリティと医療』

講師：医療法人北仁会 幹メンタルクリニック

院長 ^{いけだ}池田 ^{ひろし}官司 先生

近年、多様性を重視した考え方が社会、経済、環境など多くの面で重要と考えられるようになりました。そのなかで、性的マイノリティに関する話題については、特に注目を集めています。しかし、当事者自身が抱える悩みや、周囲の無理解、無意識にしてしまう不適切な声かけなど、現在でも多くの課題がみられます。我々施術者も、治療の際には、これらの知識を踏まえ、必要な配慮を講じる必要があります。

そこで今回は、これまでも性的マイノリティ当事者への医療的ケアをはじめとして関わってこられた池田官司先生をお招きし、性的マイノリティに関する基本的な内容に加え、池田先生が専門とされているトランスジェンダーについて詳しくご講義いただきます。

■ 7月26日(土)・27日(日)

あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師対象

『股関節痛に対する理療治療 ～変形性股関節痛を中心に～』

講師：センター指導員

股関節の痛みは膝関節の痛みとともに高齢者の外出の機会を減らす大きな要因となっています。その中でも変形性股関節症によって股関節痛を発症する患者が最も多く、日本には500万人の患者が存在すると言われています。

本講座では、股関節痛の原因として最も多い変形性股関節症に対する鍼灸手技療法を取り上げるとともに、運動療法や患者へのセルフケアのアドバイスについても取り上げます。実技を主体とした講座です。

■ 8 月 31 日（日）

あん摩マッサージ指圧師対象

『スポーツマッサージの実際 ～北海道マラソン 2025 ボランティアマッサージ』

講師：センター指導員

北海道マラソン 2025 に出場するランナーを対象に、レース直後の疲労回復・ケアを目的としたマッサージ施術を行います。会場は昨年と同様、大通公園内を予定しております。

エリートランナーへの施術や筋けいれんに対する処置、急性期の筋へのアプローチなどを経験できる貴重な機会です。詳しい内容が決まり次第、皆様にお伝えします。多くの参加をお待ちしております。

■ 9 月 20 日（土）・21 日（日）

あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師対象

『運動器疾患に対する各種体操療法の実際』

講師：センター指導員

臨床場面で多く遭遇する「頸肩部のこり」、「肩関節の痛み」、「腰痛」、「膝痛」に対しては、鍼灸や手技療法が中心となりますが、併せて、各種の体操療法を加えることで、さらに治療効果を上げることができると考えられます。また、患者指導の面からこれらの体操療法を励行することで生活の質を高められることも予測されます。

本講座では、運動器疾患に対する各種の体操療法を理解し、実際の患者指導ができるようになることを目的として研修します。

令和6年度研修講座報告

今年度も受講者の皆様のご理解・ご協力を得ながら、おおむね計画通りに開催することができました。台風の影響により次年度へ延期となりました講座を除き、14講座（19日間）を実施し、そのうち外部講師として10名の方々をお招きすることができました。また、地域研修講座を3地区（札幌、函館、釧路）で開催いたしました。本号では、今年度の講座の中から3つ取り上げてご報告いたします。

1 7月28日（日） 第1回理療専門講座（開所10年記念講座）

今年度、理療研修センターは開所10年を迎えました。そのことを記念し、理療に関する領域で長きにわたり研究・実践をされている、明治国際医療大学名誉学長の矢野忠先生をお招きし、「最新の免疫から考えるこれからの理療のあり方」というテーマでご講義いただきました。本講座は道央地域研修講座としても開催し、多くの方が受講されました。

午前サブタイトルを「自然免疫による理療の可能性」とし、自然免疫を中心とした免疫システムについて、簡潔に教えていただきました。さらに、腸内フローラや皮膚と免疫との関係性についても興味深い話題が多くありました。「病は腸から」というお言葉が印象的でした。さらに、理療治療が免疫力の向上に寄与できる可能性について、様々な研究報告をご紹介いただき、第2の脳である腸と、第3の脳である皮膚にアプローチできる理療の強みを感じることができました。

続いて、午後は「理療による腸活」というテーマのもと、便通異常の病態や分類など、最近の話題も含めてお話しいただきました。さらに、デモンストレーションではこれまでの豊富な治療経験を踏まえた施術の考え方についてもお話しいただき、大変貴重な機会となりました。

2 8月25日（日） 第1回臨床講座

北海道マラソン2024にて、「スポーツマッサージの実際」と題して研修講座を開催しました。今大会は海外ランナーを含め約2万人のランナーが参加し、そのうち402名の方々に下肢を中心としたマッサージ施術を行いました。

高温・多湿で、厳しい日差しのもと、非常に過酷なマラソンを終えたランナーは、疲労度や下肢筋の痙攣の頻度も多かったように思います。レース直後にマッサージを受けていただいたランナーの皆様からは、「毎年この施術を楽しみにしています」、「元気になりました」など、短時間の施術ではありましたが、好意的な意見が多く寄せられていました。また、施術者の方々からは、厳しい気候のなかではあったが、大変貴重な研修機会だったとの声も聞かれました。

また、この講座は次年度以降も開催予定です。改めてご案内いたしますが、あま指師の皆様のご参加をお待ちしております。

3 10月27日(日)・11月3日(日) 道南・道東地域研修講座

当センターでは、道央(札幌)・道南(函館)・道東(帯広または釧路)の3地区で「地域研修講座」を開催しております。この講座は、北海道鍼灸柔整マッサージ師会との共催で行っており、道内のあはき師の資質向上および各地域での情報交換の場としても大変貴重なものです。

今年度の道南・道東地域研修講座では、センター指導員が「関節モビライゼーションを身に付けよう」というテーマで講義・実習を行いました。

前段として関節モビライゼーションに関する重要事項について簡単に説明しました。その後は肩関節、膝関節、足関節の離開法と滑り法について、実習を中心に行いました。受講者の方々は、自分や他の受講者の体を使いながら、適切にモビライゼーションが行えるよう熱心に取り組んでおられました。今後も日々の臨床に活かせる講座の企画・運営に努めて参ります。

最後になりますが、地域研修講座の開催にあたりご協力いただいた関係機関、団体の方々に感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

理療研修センターのご利用についてのお知らせ

理療研修センターでは、道内の視覚に障がいのあるあはき師の知識・技術の向上をサポートできるよう、様々な取組を行っております。令和7年度からは下記のとおり、さらに取組を充実させていきます。

つきましては、下記の取組をご覧になり、利用を希望される場合は、電話・メールにてお知らせください。希望日時などを確認のうえ、対応させていただきます。お早めにご連絡いただきますと、希望に添いやすいです。

ぜひ多くの方にご活用いただき、日々の臨床に活かしていただきたいと考えております。ご連絡をお待ちしております。

- (1) 施術のブランクや新たな技術を身に付けたい方に対し、研修生としてマンツーマンで継続的に研修を行います。
- (2) 所蔵している理療や医療に関する多数の書籍(点字のものもあります)、雑誌、DVDを自由に閲覧できます。なお、貸し出しは行っておりません。
- (3) 研修講座に参加できなかった方でも、センターに来所し、録音した講座の音声を聴いたり、資料を閲覧できます(外部講師の講座は了承が得られたもののみ)。
- (4) センター指導員の行った研修講座について、マンツーマンで講義・実習を行います。
- (5) 当センター所蔵の書籍・DVDの検索や読み上げ、図の解説、DVD機器の操作、映像や動きの説明など、利用される方の希望に応じ、学びをサポートします。

機関誌「ひびき」の送付についてのお知らせ

昨年9月末発行の機関誌「ひびき」第61号にも掲載いたしましたが、昨今の輸送コストの上昇やインターネット環境の充実を受け、発送分量の削減および送付コストの削減の取組を行っております。その取組の一環として、今号より「ひびき」と半期講座案内を統合した形で作成しております。

また、引き続き「ひびき」の提供形態（郵送、メール）を集約させていただき、皆様が扱いやすい形で提供したいと考えております。

令和6年10月以降、すでにご回答いただいた方につきましては、改めての連絡は不要です。

1 集約方法

電話またはメール、google フォーム、受講時に口頭にて希望を集約いたします。なお、電話は平日8時40分から16時50分の受付となります。行事等で休業させていただく場合もございますので、できるだけメールかgoogle フォームでの回答をお願いいたします。メールをご利用になる際は、当センターのアドレス（ahaki@popmail.hokkaido-c.ed.jp）からのメールを拒否しないようセキュリティ設定をお願いいたします。

なお、令和8年2月末時点でご回答のない方は、令和8年3月末発行分以降、発送を停止させていただきますので、ご理解・ご協力のほど、重ねてお願い申し上げます。

2 集約する項目

- (1) 発送の希望の有無（ない場合、以降の項目は必要ありません）
- (2) 電話番号及び発送方法の希望（墨字・点字・点墨両方の郵送、メールの場合はpdf、テキスト、bse）

3 回答先

- (1) 電話：011-533-3253
- (2) メール：ahaki@popmail.hokkaido-c.ed.jp
- (3) google フォーム（QR コード）：<https://forms.gle/fJdwbCT9GgwyfBIF7>



編集後記

「ひびき第62号」を最後までお読みいただきありがとうございました。今号から、講座案内と統合し、一つの機関誌として発行いたしました。

令和7年度は、幅広く、かつそれぞれの技術をより習熟できるような講座を開催できるよう計画しております。臨床にすぐに取り入れられる内容となっておりますので、是非ご参加ください。

また、講座や機関誌、センターの事業等に関するご意見も随時受け付けておりますので、お気軽にお寄せください。今後とも理療研修センターをどうぞよろしくお願いいたします。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

発行日：令和7年（2025年）3月18日

発行：北海道札幌視覚支援学校附属理療研修センター

住所：〒064-8629 札幌市中央区南14条西12丁目1-1

電話：011-533-3253

ホームページ：<http://www.riryo.hokkaido-c.ed.jp>

メール（代表）：ahaki@popmail.hokkaido-c.ed.jp



表紙：第2回理療専門講座『山元式新頭鍼療法の理論と実践』

講師：広胖堂はりきゅう治療院 MATAHARI 院長 神谷 哲治 先生